

5月の農薬

No. 2 - 1
令和8年5月1日

水稲

葉いもちの予防は箱処理剤で・長期持続型いもち害虫
同時防除箱処理剤で本田での防除回数が削減できます。

農薬名 (処理時期)	規格	密苗 対応	主な対象病虫害	使用方法・使用量等
ブイゲットパディート粒剤 (緑化期～移植当日)	1kg 10kg	○	葉いもち イネミズゾウムシ イネドロオイムシ ウンカ類 (イナゴ類) (ニカメイチュウ) (ツマグロヨコバイ)	<ul style="list-style-type: none"> 箱当たり50gを均一に散布し、茎葉に付着した薬剤が落下する程度に灌水する。 ※密苗対応の欄に○が記載されている薬剤は密苗に対応した登録を取得しています。 育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5L)1箱当たり乾粕として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整してください。 軟弱徒長苗では葉害の恐れがあるので、使用を避ける。 漏水田、砂質土壌、未熟堆肥多用田では使用を避ける。 薬剤処理した苗は予備苗としない。 県内において「嵐」に耐性菌を有するいもち病の発生が認められているため、使用を控える。 育苗箱からこぼれた場合や薬剤処理後の灌水によって、農薬成分が土壌に残留し、後作物で栽培した野菜に吸収され適用外成分として検出されることがあるので、後作で野菜を栽培するハウス内では以下の事項を厳守する。 <ol style="list-style-type: none"> 水稲育苗箱施用薬剤を処理した苗の育苗は行わない。 水稲育苗箱施用薬剤は処理しない。
ブーンパディート箱粒剤 (播種時(覆土前)～移植当日)		○		
ブイゲットプリンス粒剤10 (緑化期～移植当日)		○		
エバーゴルフフォルテ箱粒剤 (播種時(覆土前)～移植当日)		○	いもち 紋枯 イネドロオイムシ イネミズゾウムシ ウンカ類 ツマグロヨコバイ	
ルーチンブライト箱粒剤 (播種時(覆土前)～移植当日)		○		
トリプルキック箱粒剤 (移植3日前～移植当日)	○	稲こもち 紋枯 黒穂 イネドロオイムシ イネミズゾウムシ ニカメイチュウ		

イネミズゾウムシ対策

薬剤の種類は発生する害虫に応じて、使用するようにしましょう。

処理時期	農薬名	規格	処理量	主な対象害虫					
				イネミズ	イネドロ	イナゴ	ニカメイチュウ	ウンカ類	ツマグロヨコバイ
本田期	なげこみトレボン	(50g×6)	水溶性容器6個 (300ml)/10a	○	○	○	-	-	-
	トレボン粒剤	2kg	2kg/10a	○	○	○	○ (3kg/10a)	○	○

一 葉害が出る恐れがあるので、次の事項に注意すること

- 軟弱徒長苗には使用を避ける。
- 本田が砂質土壌及び、漏水の大きいところでは使用しない。
- 茎葉に付着した薬剤は払い落とす。(茎葉がぬれている時は、露を払い落してから処理する)
- 移植後はすみやかに灌水する。また、箱処理剤を使用した苗は予備苗としない。

水稲除草剤

止水管理7日間の徹底をお願いします。

農薬名	規格	主な対象雑草	使用方法・10a当り薬量
ソルネット1キロ粒剤 (移植直後～ノビエ1葉期)	1kg	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ	<ul style="list-style-type: none"> 1kg/10aを均一に散布する。 砂質土壌や漏水の大きな水田(2cm/日以上)では使用を避ける。 3～5cmの湛水状態で使用し、7日間は止水する。 極端な浅植え水田では使用を避ける。 初期の抵抗性アゼナ類に対し効果が高い。
エリジャン乳剤 (移植直後～ノビエ1葉期)	300ml	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ハラオモダカ	<ul style="list-style-type: none"> 300ml/10aを均一に散布する。 砂質土壌や漏水の大きな水田(3cm/日以上)では使用を避ける。 7日間は止水する。
メテオフロアブル (移植直後～ノビエ1葉期)	500ml 2ℓ	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ	<ul style="list-style-type: none"> 500ml/10aを均一に拡散させるため、幅が20m以上のほ場では畦畔からと、ほ場内から散布を行う。 3～5cmの湛水状態で使用し、7日間は止水する。
ピラクロンジャンボ (移植直後～ノビエ1.5葉期)	300g	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ モダカ	<ul style="list-style-type: none"> 10パック/10aを概ね均一に投げ込む。 5～6cmの湛水状態で使用し、7日間は止水する。

農薬名 (散布時期)	規格	主な対象雑草	使用方法・10a当り薬量
デオレジャンボ (移植後1日～ノビエ3葉期)	10パック (400g)	水田一年生雑草 マツバイ・ホタルイ ミズガヤツリ・ウリカワ ハラオモダカ・ヒルムシロ	<ul style="list-style-type: none"> 10パック/10aを概ね均一に投げ込む。 葉や浮き草が多発しているほ場では、拡散が不十分となり、効果が低下するので使用しない。
センメツZジャンボ (移植後3日～ノビエ4葉期)	10パック (200g)		
プライオリティ1キロ粒剤 (移植時～ノビエ3.5葉期)			
デオレ1キロ粒剤 (移植時～ノビエ3葉期)	1kg	水田一年生雑草 マツバイ・ホタルイ ミズガヤツリ・ウリカワ ハラオモダカ・ヒルムシロ	<ul style="list-style-type: none"> 1kg/10aを均一に散布する。 軟弱苗、極端な浅植え、浮き苗の多いほ場では使用を避ける。 抵抗性アゼナ類にはいずれかの薬剤を中心に使用する。 いずれの剤も移植時処理可能。
センメツZ1キロ粒剤 (移植時～ノビエ4葉期)	10kg		
アカツキ1キロ粒剤 (移植時～ノビエ3葉期)			
プライオリティ豆つぶ250 (移植直後～ノビエ3.5葉期)	250g 2.5kg	水田一年生雑草 マツバイ・ホタルイ ミズガヤツリ・ウリカワ ハラオモダカ・ヒルムシロ	<ul style="list-style-type: none"> 250g/10aを畦畔より額縁散布する。 砂質土壌および、漏水田、軟弱苗、極端な浅植えや、根の露出したほ場では使用しない。 葉や浮き草が多発しているほ場では、拡散が不十分となり、効果が低下するので使用しない。
ジャスタフロアブル (移植直後～ノビエ3.5葉期)	500ml 2ℓ		
センメツZ200FG (移植後3日～ノビエ4葉期)	200g 2kg	水田一年生雑草 マツバイ・ホタルイ ミズガヤツリ・ウリカワ ヒルムシロ・セリ・シズイ	<ul style="list-style-type: none"> 砂質土壌、および、漏水田、軟弱苗、極端な浅植えや、根の露出したほ場での使用は避ける。 200g/10aを畦畔より額縁散布する。

ラ・フランス

(西洋なし)

アブラムシ・シンクイムシ類の重要な防除時期です。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病虫害	倍水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量	備考
5月上旬 中旬 (落花一週間後)	モスピラン顆粒水溶剤	100g 250g	○	アブラムシ類 カメムシ類	4,000倍 25g	400ℓ 100g	地域の殺虫剤使用制限に準じて下さい。(訪花昆虫保護)
	バイオマックスDF	335g 500g		ハマキムシ類	2,000倍 50g	400ℓ 200g	
	サムコルフロアブル10	200ml 500ml 1ℓ	-	ハマキムシ類 シンクイムシ類	5,000倍 20ml	400ℓ 80ml	
	フェニックスフロアブル	250ml 500ml	-	ハマキムシ類	4,000倍 25ml	400ℓ 100ml	
	ダイアジノン水和剤34	500g 1kg	○	(アブラムシ類) ハマキムシ類 シンクイムシ類	1,000倍 100g	400ℓ 400g	
	トップジンM水和剤	500g	-	胴黒 枯星 病病	1,500倍 67g	400ℓ 268g	
オキシラン水和剤	500g 1kg	-	黒斑 細菌 細菌 病病	500倍 200g	400ℓ 800g		

・本資料は防除の一例です。気象条件や作物の生育状況をふまえ、県関係機関にご相談のうえ、現場に沿った適正な防除指導をお願いいたします。
・農薬は登録内容が変更になる場合がございます。使用前に再度登録内容をご確認のうえ、ご使用いただきますようお願いいたします。



もっと近くに。

全農山形県本部 資材エネルギー部

お問い合わせの電話番号 023-687-8700

FAX番号 023-634-8182

農薬はJAマークの製品を!

先入れ先出しの励行を!

5月の農薬

No. 2 - 2

令和8年5月1日

農薬の適正使用、ポジティブリスト制度の周知、農薬の使用基準を遵守し、飛散防止対策に留意しながら防除されるようご指導ください。訪花昆虫を保護するため、殺虫剤使用制限に準じて、ご指導ください。

りんご

- ①落下後～6月上旬までは「さび果」や「生理落花」が発生しやすいので、薬剤の選定に注意しましょう。
- ②黒星病の防除を徹底しましょう。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍水100ℓ当り薬量	10a当り散布量	備考	
落花直後(5月中旬)	インダーフロアブル	100ml	-	黒星病、点落葉病、斑点星病、赤星病(モニリア)	5,000倍 20ml	500ℓ 100ml	いずれか 加用	
	オンリーワンフロアブル	250ml	-		2,000倍 50ml	500ℓ 250ml		
	スコア顆粒水和剤	250g 335g	-		3,000倍 33g	500ℓ 165g		
	ジマンダイセン水和剤	500g 1kg	-		600倍 166g	500ℓ 833g	地域の殺虫剤使用制限に準じて下さい。(訪花昆虫保護)いずれかを散布する。	
	トレノックスフロアブル	1ℓ 2ℓ	-		500倍 200ml	500ℓ 1,000ml		
	アスパイア水和剤	1kg	-		500倍 200g	500ℓ 1,000g		
	サムコルフロアブル10	200ml 500ml	-		ハマキムシ類 シンクイムシ類	5,000倍 20ml		500ℓ 100ml
	フェニックスフロアブル	250ml 500ml	-		ハマキムシ類	4,000倍 25ml		500ℓ 125ml
	バイオマックスDF	335g 500g	-		ハマキムシ類	2,000倍 50g		500ℓ 250g
落花15日後(5月下旬)	トレノックスフロアブル	1ℓ 2ℓ	-	黒星病、点落葉病、黒赤褐	500倍 200ml	500ℓ 1,000ml	混用	
	トランスフォームフロアブル	250ml	-	カイガラムシ類 アブラムシ類 リンゴワタムシ類 カメムシ類	2,000倍 50ml	500ℓ 250ml		
	ダントツ水溶剤	125g 250g	-	アブラムシ類 リンゴワタムシ類 カメムシ類	4,000倍 25g	500ℓ 125g		
	モスピラン顆粒水溶剤	100g 250g	○	同上	4,000倍 25g	500ℓ 125g		

① 黒星病多発地域では落花10日後、20日後にジマンダイセン水和剤またはトレノックスフロアブルを散布する。

ぶどう

- ①クロヒメゾウムシ防除は早めに行いましょう。
- ②第1回のジベ処理は適期を逃さずに行いましょう。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍水100ℓ当り薬量	10a当り散布量	備考
展葉初期(5月上旬・中旬)	モスピラン顆粒水溶剤	100g 250g 500g	○	フタテンヒメヨコバイ チャノキイロアザミウマ	2,000倍 50g	200ℓ 100g	混用 デラウエア
	ベンコゼブフロアブル	500ml	-	べととう病	1,000倍 100ml	200ℓ 200ml	
	ジマンダイセン水和剤	500g 1kg	-	べととう病	1,000倍 100g	200ℓ 200g	混用 欧州種
	モスピラン顆粒水溶剤	100g 250g 500g	○	フタテンヒメヨコバイ チャノキイロアザミウマ	2,000倍 50g	200ℓ 100g	
5月下旬	デランフロアブル	500ml	○	べととう病 (晩腐)	1,000倍 100ml	200ℓ 200ml	いずれか 欧州種
	ベンコゼブフロアブル	500ml	-	べととう病	1,000倍 100ml	200ℓ 200ml	
5/5上	ジベレリン	200mg	-	無核果	水2ℓ 200mg	浸漬10a 8~10箱	第1回目

もも

- ①モモハモグリガの重点防除は落花直後です。
- ②前年、せん孔細菌病が多かった園では散布間隔を開けないように防除しましょう。
- ③灰星病と黒星病の防除は必ず実施しよう。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍水100ℓ当り薬量	10a当り散布量	備考
5月上旬(落花直後)	ノーモルト乳剤	500ml	-	モモハモグリガ	2,000倍 50ml	300ℓ 150ml	花ぐされ多い園ではさらに散布する。
	ウララDF	250g	-	アブラムシ類	2,000倍 50g	300ℓ 150g	
	マイコシールド	500g	-	せん孔細菌病	2,000倍 50g	300ℓ 150g	
	ロブラール水和剤 スミレックス水和剤	100g 500g	-	灰星病	1,500倍 66g	300ℓ 200g	
5月中・下旬	トレノックスフロアブル	1ℓ 2ℓ	-	灰星病 せん孔細菌病	500倍 200ml	400ℓ 800ml	いずれか
	デランフロアブル	500ml	○	灰星病 せん孔細菌病	600倍 167g	400ℓ 667g	
	マイコシールド	500g	-	せん孔細菌病	2,000倍 50g	300ℓ 150g	
	ダイアジノン水和剤34	500g 1kg	○	シンクイムシ類 ハマキムシ類 (アブラムシ類)	1,000倍 100g	400ℓ 400g	地域の殺虫剤使用制限に準じて下さい。(訪花昆虫保護)
	バイオマックスDF	335g 500g	-	ハマキムシ類	2,000倍 (50g)	400ℓ 200g	
	フェニックスフロアブル	250ml 500ml	-	同上	4,000倍 (25ml)	400ℓ 100ml	

おうとう

- ①カイガラムシ1回目の防除時期は5月中旬～5月下旬です。
- ②早生種の収穫前日数に留意し防除しましょう。

散布時期	農薬名	規格	譲渡書	主な対象病害虫	倍水100ℓ当り薬量	10a当り散布量	備考
満開3日後(5月上旬)	オーシャインフロアブル	500ml	-	灰幼果菌核病	3,000倍 33g	500ℓ 167g	混用 訪花昆虫保護に留意
	オーソサイド水和剤80	500g	-	炭そ星病	800倍 125g	500ℓ 625g	
	バイオマックスDF	335g 500g	-	ハマキムシ類	2,000倍 50g	500ℓ 250g	
満開15日後(5月中旬)	パスワード顆粒水和剤	500g	-	灰星病	1,500倍 66g	700ℓ 466g	いずれか
	オーソサイド水和剤80	250g 500g	-	炭そ星病	800倍 125g	700ℓ 875g	
5/6月上旬	ウララDF	250g 500g	-	コアオカスミカメ	2,000倍 50g	500ℓ 250g	いずれか
	ダニコングフロアブル	250ml	-	ハダニ類 (収穫前日まで)	2,000倍 100ml	700ℓ 350ml	
5月下旬	スコア顆粒水和剤	250g 335g	-	灰星病	2,000倍 50g	700ℓ 350g	いずれか
	オーソサイド水和剤80	500g	-	(灰星病) 炭褐色せん孔病	1,000倍 100g	700ℓ 700g	
	トランスフォームフロアブル	250ml	-	カイガラムシ類	1,000倍 100ml	700ℓ 700ml	
	モスピラン顆粒水溶剤	100g 250g	○	オウトウショウジョウバエ カメムシ類 カイガラムシ類	2,000倍 50g	700ℓ 350g	

① ウメシロカイガラムシに対してトランスフォームフロアブルは歩行性幼虫発生時期よりも1週間程度早く散布しても効果がある。

家庭菜園向けおススメ農薬

ダントツ粒剤

- 1kg** ・定植時に処理することでアブラムシ・コナジラミ・ハモグリバエなどの害虫を防除できます。幅広い作物に登録があり使いやすい剤です。
- 3kg** ・ダントツ粒剤専用散粒器「ひと振りちゃん」がついてきます。(※ひと振りで1g散布できます)